

人材育成セミナー 開催報告



今回は翔北高校の生徒たちが大活躍!

今年度は湯沢西地区がその舞台となりました。今回の特徴は何と云っても湯沢翔北高校総合ビジネス科の生徒さんたちが大勢参加してくれたことです。生まれたグループは6つ。どの班にも高校生と地元住民が入っており、お互いに刺激を受けつつ、この西地区の可能性を引き出すまちあるき調査とまとめ作業を行いました。

開催日：令和4年6月19日(日)
会場：湯沢文化会館

セミナーでのスナップ



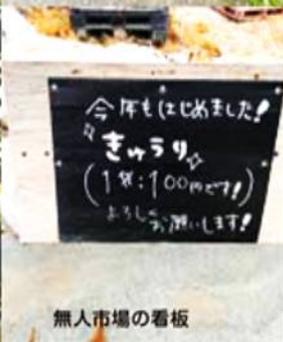
公園の現状を調査中



住居街のまちあるき資源調査



途中で他班と合流して



無人市場の看板



公園の遊具チェック?



現場で記入したシートを整理しながらの協働作業



作成した地図を全員に向けて成果



発見した資源を基に事業の提案をまとめる

〈当日のプログラム〉

- 9:00 オープニング
- 9:25 ゆるやかな関係づくりゲーム
- 10:00 講義「地域の資源を再発見する方法とまちづくりの実際」
- 10:35 歩くエリア(西地区内)の紹介
- 10:45 チームの作戦会議
- 11:20 まちあるき(まちのたからもの探し)
- 14:40 会場に戻る～休憩
- 15:00 資源調査のまとめ作業
- 16:30 グループ発表
- 17:05 クロージング
- 17:10 終了

今年度の成果品

2班

まちあるきのテーマ：防災・公園の活用の見直し

1班

まちあるきのテーマ：気軽にふれあえるまちづくり



3班

まちあるきのテーマ：桜のパワーを後世に



4班



5班

まちあるきのテーマ：
昭和にさかのぼり
生活・経済のルーツを探る



6班



R4 湯沢市人材育成セミナーを終えて

大滝 聡 (講師)

この湯沢西地区は典型的な新興住宅街で、目立った観光施設や歴史的な資源などはあまり見当たらない地区になります。そのためか、地域住民の方々、このまちを歩いて調査して何か効果があるのだろうかという疑問を少なからず持っておられたようです。

そこで今回のまちあるき調査では、単にまちの資源や課題を探すだけでなく、そうしたものをベースにして、何かビジネスにつながる提案をしてほしいという投げかけを行いました。これは翔北高校の皆さんが、総合ビジネス科の生徒であったことも考慮してのことです。

結果的にこれが功を奏しました。道路に落ちていたゴミ一つ見つけても、これがビジネスの種になるのではないかという発想が次々と生まれたのです。これがこれからのまちをつくる基本になるだろうと確信しています。

参加者の声 (ふりかえりシートより)

- ・最初来た時は運営の方々などから教えて貰う様なセミナーだと思っていたのですが、その他に地域または地域の方々から教えてもらい学ぶ場だという事が分かりました。
- ・知っていたつもりだった湯沢の「宝」について再確認できた。また他の班の発表を聞いて感じ方や考え方の違いにはっとさせられた。
- ・学校の課題研究でも湯沢の課題や良さを出して活動した経験があったが、今回はその時以上に深く掘り下げながらできたので意外と気づかないだけで、湯沢にはもっとのびしろがある事に気づいた。
- ・身近なところについて深く考える事がなかったが、今回のセミナーの様に少し深く考えていくことは大切なことだと感じました。
- ・普段あまり通る事のない地域を歩きましたが、どんな場所でも生活していく中で生まれる課題もあるが、解決に向けて動き出している人や資源を継承したい人たちがいることでよりよいまちづくりに繋がっていると感じました。資源は見逃してしまい課題ばかり日がいってしまいがちでしたが、どんな場所にもストーリーがあり面白かったです。

【お問い合わせ先】 湯沢市ふるさと未来創造部まちづくり協働課

TEL 0183-55-8249 (直通)

Eメール: kyodo-gr@city.yuzawa.lg.jp

企画・編集 有限会社オム・クリエイション (湯沢市より受託)

